

# 気候変動に適応する治水方策 に関するワークショップ

定員:200名  
参加料:無料

日時:平成25年3月12日(火)  
13:30-18:00(受付 13:00 より)

場所:TKP 東京八重洲カンファレンスセンター  
ホール5B

(東京都中央区京橋 2-3-19、  
TKP 八重洲ビル TEL. 03-6202-6100)

## 《会場案内図》



## ワークショップの概要

地球温暖化に伴う気候変動の影響予測研究は、近年、着実に進展し続け、将来の豪雨の増大は以前よりはるかに詳細に予測できるようになりました。この状況を踏まえ、国土交通省社会整備審議会は、平成20年6月の「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について(答申)」において、適応策の考え方を示しています。国土技術政策総合研究所(国総研)は、この考えに沿って、実務面での適応策の計画を可能とする諸施策の研究を続けてきました。本ワークショップでは、気候変動に伴う豪雨増大への適応に焦点を絞り、気候変動適応策を気候変動予測の範疇にとどめず、河川技術のレベル(河川・流域の現場での技術)につなげることの重要性の認識を共有し、河川技術の研究者・技術者がどのように活躍しなければならないか、気候変動適応が“別途”あるのではなく、蓄積されてきた治水とその技術に立脚して展開されるべきものであることの認識を共有し、机上の議論ではなく、現場で展開されてきた施策の実績と課題を踏まえた技術政策議論をどう展開するか、多方面で進んでいる研究を踏まえ、政策に資する適応策を生み出す研究が進む全体状況にどう貢献できるかについて議論します。

### △ 参加申込み方法

下記メールアドレスに氏名と所属を記入したメールを送付してください。  
kikou-ws@nilim.go.jp

### △ CPD登録認定

本ワークショップは、(社)土木学会継続教育(CPD)プログラムとして認定されております。



### 【問合せ先】

国土技術政策総合研究所 河川研究部気候変動チーム  
Tel.029-864-3052 (担当:菊森)

## ■プログラム（案）

時間	議題
13:30-13:35	開会あいさつ 上総周平（国総研所長）
13:35-13:45	進め方の説明 藤田光一（国総研河川研究部長）
【基調講演】	
13:45-14:15	気候変動災害に対する適応技術の考え方 福岡捷二（中央大学研究開発機構教授）
14:15-14:45	気候変動影響評価研究の進展 中北英一（京都大学防災研究所教授）
【国総研適応研究中間報告からの題材提供】	
14:45-14:55	取り組みの全体状況 吉谷純一
14:55-15:05	治水対策検討のための気候変動予測結果の翻訳 服部敦
15:05-15:15	治水対策手法の拡充の展望 1：河道設計からのアプローチ 服部敦
15:15-15:25	治水対策手法の拡充の展望 2：ダムの洪水調節の高度化からのアプローチ 川崎将生
15:25-15:40	超過外力を受けた堤防システムの機能発揮・喪失シナリオ設定の技術化 服部敦
15:40-15:55	災害の起こり方のコントロールについての現状と課題 飯野光則
15:55-16:05	不確実性への対応についての論点 吉谷純一
16:05-16:15	質疑
【休憩】	
16:15-16:25	休憩
【討論】	
16:25-17:55	討論 登壇者： 福岡捷二（中央大学研究開発機構教授）、基調講演者 中北英一（京都大学防災研究所教授）、基調講演者 渡邊康玄（北見工業大学教授）、コメンテーター 角哲也（京都大学防災研究所教授）、コメンテーター 二瓶泰雄（東京理科大学准教授）、コメンテーター 藤田光一（国総研河川研究部長）、進行役
17:55-18:00	閉会あいさつ 藤田光一（国総研河川研究部長）